

高信頼性ICタグ

「光り玉」は世界を広げる

現在単にIDがあるというだけでは、お客様のニーズを吸収するには迫力にかけますし、バーコードという巨大なインフラとの戦いが待っています。確かにバーコードには大きな欠点があります。それでもかなりよく使いこなされていることに一目おくべきです。

せっかく無線という技術を使うのですから、もっと多くの電子部品と連携をもって新しい付加価値を追求すべきと思っています。このとき必ず、電池の寿命問題になりますが、これは「光り玉」は解決しました。

お客様は機能を求めていることが多いのです。その機能は単純なものから複雑なものがありますが、いままででない機能が欲しいと願っています。お客様はそれを導入することにより高度なサービスを実現しようとしています。

(株)R&Vの宇佐美光雄は安心して使える「光り玉」を提案しようとしています。その「光り玉」はこれから様々なアイデアを吸収できる余地があることが大きな魅力なのです。